

埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network
埼玉グリーン購入ネットワークニュース

第30号 2023年3月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める
首都圏初の地域ネットワーク～

埼玉GPN NEWS 2023.3



細田 千恵支社長

「地域の豊かな暮らしや社会の発展に向けて、さまざまなエネルギーで社会を支える挑戦を続けてまいります。」

東京ガスネットワーク株式会社
埼玉支社長 細田 千恵氏

今回は設立当初から役員（運営委員）としてもご尽力いただいている東京ガスネットワーク株式会社埼玉支社を訪問し、細田支社長から安心安全や脱炭素への取組について、星野会長がお聞きしました。

星野：本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。貴社は、東京ガス㈱から分社化されましたが、初めに事業内容について教えてください。

細田支社長：おっしゃるとおり、東京ガスネットワーク㈱は2022年4月、東京ガス㈱からガス導管事業等を承継し、事業を開始しました。

ガス小売全面自由化（ガスシステム改革）を受け、導管事業とそれ以外の小売事業、製造事業の分離が法的に義務付けられことを契機に、東京ガスがホールディングス型グループ体制となりました。そして従来の東京ガスの事業のうち、ガス事業の根幹である導管事業等を承継し、東京ガスネットワークが誕生しました。

ガス導管事業者として、これまで培ってきたお客さま・地域とのつながり、「安心・安全・信頼」を引継ぎ、安定的に都市ガスをお届けする供給管理、安心してお使いいただくためのガス管等供給設備の維持管理、ガス漏れ等、緊急時の対応及び災害時の備えと早期復旧

システムの整備に努めております。また、都市ガスの普及促進、地域のエネルギーに関する課題解決と地域発展への貢献も担っていきたくと思っています。

地震・防災対策



地震対策について語る細田支社長

星野：近い将来、大型地震の発生が指摘されていますが、私たちの暮らしを支えるライフラインとしての備えや対策について教えてください。

細田支社長：まず、震度5程度以上の揺れを感知した時などはガスメーターの安全装置が作動し、一時的にガス供給を止めます。感震遮断による供給停止でなければ、ご家庭のガスメーターの復旧操作により使用可能になります。ガスメーターが何処にあるかご存じない方もいらっしゃると思います。この機会に是非ご確認ください。

CONTENTS

- トップインタビュー 東京ガスネットワーク株式会社 埼玉支社長 細田 千恵氏 1
- 第5回埼玉GPNオンラインミニセミナー開催 3
- 第4回SDGsエコフォーラム in 埼玉を開催 3
- 埼玉県版ふるさとSDGsボードゲームに協力・事例提供 4

操作の手順は、①すべてのガス機器を止める。②ガスメーターの黒い復帰ボタンをしっかりと奥まで押し込み、ゆっくり手を放す。③点滅していた中央部のランプがいったん点灯し、再び点滅状態になることを確認する。④ガスを使わないで3分間待ち、点滅が消えていたらガスの使用が可能です。この3分間に圧力の変化でガス漏れの有無を自動的に検知しています。

また、ガス導管に被害を及ぼすような大きな揺れを感知すると地震防災システム「SUPREME」がブロック内の低圧の供給を自動的に感震遮断します。

ガス導管網を複数の「ブロック」に分け、被害が大きい地域を限定し、ガスの供給を停止する地域を最小限にすることで、被害の軽微な地区に対する早期復旧を目指します。

万が一、ガスの供給停止を伴う大規模な地震が発生した際には、ガスの供給停止状況や復旧進捗状況を地図上に色分けして分かりやすくお知らせする「復旧マイマップ」をホームページ上でお知らせしますので、ぜひ、ご活用ください。

カーボンニュートラルに向けた天然ガスの役割

星野：エネルギー産業としては、2050年カーボンニュートラルに向けた取組が喫緊の課題ですが、展望をお聞かせください。

細田支社長：現実感あるカーボンニュートラル社会への移行が、当社グループの社会的使命であり、移行期においては、天然ガスの果たす役割は大きいと認識しています。即効性のあるCO₂排出抑制手段として、他の化石燃料からの徹底した天然ガスシフトやエネルギーの面的利用など、天然ガスの高度利用の推進により、確実なCO₂削減を進めます。



カーボンニュートラルについて語る細田支社長

一方、都市ガス自体のカーボンニュートラル化に向けた技術開発も進めています。太陽光等の再生可能エネルギーで発電した電気で水を電気分解し、水素を製造する技術開発を進めています。また、その水素と回収したCO₂を反応させてe-methane（合成メタン）を作る、メタネーションという技術開発にも取り組んでいます。e-methaneは燃焼時にCO₂を排出しますが、製造時にCO₂を取り込んでいるので、カーボンリサイクル＝CO₂ネット・ゼロが成り立ちます。都市ガスの主成分であるメタンをe-methaneに置き換えることから、経済的に脱炭素の達成が可能になります。

今ある技術で天然ガスを有効利用していただきつつ、将来に向けて技術開発を進め、2050年のカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

グリーン購入

星野：貴社は当団体設立当初から会員として、また役員としてご協力いただいておりますが、グリーン購入の取組についてはいかがでしょうか？

細田支社長：当社では、「東京ガスグループ私たちの行動基準」を定め、その中で、お取引先との取引や関係について規定し、周知・徹底を図っています。購買活動については、基本方針として透明性が高く公平・公正な取引を基本とするという行動規範を定め、お取引先との信頼関係確立に努めています。

また、お取引先との行動規範の共有も実施しています。法令遵守、環境保全、労働・安全、人権尊重、地域社会への配慮等について、お取引先への要請事項を定めた「取引先購買ガイドライン」および「グリーン購入推進の手引き」を提示し、ご協力をお願いしています。

これからも埼玉支社は、東京ガスグループの地域の窓口として、事業に関わるすべての方々を想い、地域の豊かな暮らしや社会の発展に向けて、様々なエネルギーで社会を支え続けるため、弛まぬ挑戦を続けてまいります。

星野：今日は、日本の、そして埼玉のエネルギーを支える会社として、大変心強いお話を伺えました。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

東京ガスネットワーク株式会社 埼玉支社

〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影 1-20-1
武蔵浦和大栄ビル 2階

<https://www.tokyo-gas.co.jp/network/index.html>

第5回埼玉GPN オンラインミニセミナー開催

恒例となりましたオンラインミニセミナー第5回目を2月28日(火)に開催し、25名の参加を得ました。

今回は、「物流から建設まで脱炭素」をテーマとし、関連する3団体によるSDGsの取組をご紹介いただきました。

①「環境SDGsを経営に生かす取組事例」

大野建設株式会社 代表取締役 大野 哲也 氏

会社紹介 <創業の精神(ルーツ・アイデンティティ)>



創業者 大野福次郎(大棟梁)のことは

家づくりは、細くても永く行え
家づくりは、地域をよく知る者が行え

「金儲けのためにやっているとねえ。
人に喜ばれる(役に立つ)ためにやっていると。
だからいい仕事をするんだ(自分を磨くんじ)。」口癖だったそうです

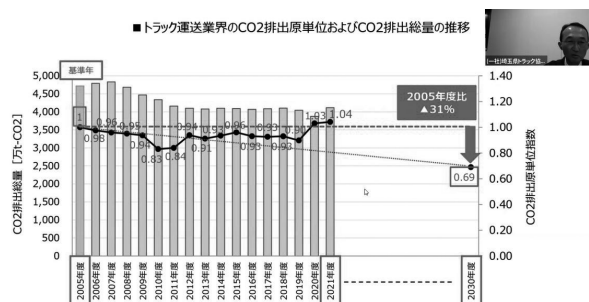


地域工務店が地域の建物づくりに責任をもって取り組むために、
棟梁(棟梁的)社員の育成を代々に行い、
持続可能な経営を行っていくこと。

1907年創業の大野建設では、創業者の「家づくりは、細くても永く行え 家づくりは、地域をよく知る者が行え」という教えのもと、地域工務店が地域の建物づくりに責任を持って取り組むため、社員育成を代々行い持続可能な経営を行っています。「三方良しの理念をもって、『夢づくり、街づくり』で社会に貢献しよう」を経営理念とし、外部コンサルティングを活用しながらSDGsに取り組み始めました。その中でも、脱炭素に向けた経営を目標に、積極的にCO₂削減に努め、埼玉県内の建設業者として初のSBT認定を取得しました。取得したことによる対外的な評価はもちろん、社内でも野心的な目標達成に向けて、全体の気運が高まるなどの相乗効果も大きいとのこと。

②「トラック運送業界の環境ビジョン2030～2050 カーボンニュートラルに向けて～」

一般社団法人埼玉県トラック協会 経理部経営支援課
参与 栗原 秀明 氏



栗原氏からは、運輸部門におけるCO₂排出量の内約2割を占める営業用トラック業界が取り組むCO₂削減に向けた展望をご紹介いただきました。「はこぶ」「事務所」からCO₂削減、「みんなで環境対策」の行動メニューに対して、各運送事業社の具体的な取組事例を紹介いただきました。また、協会の植樹活動の一例として南与野の「河童の森」を挙げ、地域の団体と協力しながら保全を行い、今では、市民の散策の場になっていると報告がありました。

③「もし、クルマでも脱炭素、SDGsに貢献したいならEVよりこれ」

エコドライブ研究所 代表 福田 慎太郎 氏



全日本エコドライブチャンピオンシップに初出場で前年チャンピオンの片山右京さんを破っての優勝経験を持つ福田氏からは、これまでの運転に係るご経験からエコドライブがもたらすメリットについてご紹介いただきました。エコドライブは、CO₂削減効果はもとより、精神的なゆとりが生まれることによる交通事故防止対策にも効果があるとのこと。昨今の物価上昇を受け、企業にとってもエコドライブによる燃費削減効果は大きく、今すぐに実践すべきであると強く解説されました。

第4回SDGsエコフォーラムin埼玉 を開催

当団体が共催となった第4回SDGsエコフォーラムin埼玉は令和4年12月10日(土)、ソニックシティ会場とオンラインのハイブリッドで開催し、延べ425人の参加を得ました。

午前の部では、前環境事務次官(日本製鉄顧問)の中井徳太郎氏から、「脱炭素をテコに強靱で持続可能な地域を目指す～地域循環共生圏(ローカルSDGs)の創造～」と題して気候変動を取り巻く世界と日本の動向及び、カーボンニュートラル実現に向けた地域循環共生圏(ローカルSDGs)の重要性について解説いただ

きました。また、今回は埼玉県による埼玉県エコアップ認証事業所表彰式が執り行われ、事業所における環境配慮行動を継続し、認証機関が10年を経過した6社に表彰状が授与されました。



午前の部 中井氏による基調講演

午後の部では、脱炭素へ向けた5つのテーマで分科会を開催しました。これまでの継続テーマに加え、今回は新たな切り口として「食と農」を取り入れるなど、様々な視点から脱炭素について議論が交わされました。

なお、フォーラム開催結果は報告書を作成し、ホームページ上で御覧いただける他、希望する方には冊子を郵送でお送りいたします。※郵送料はご負担ください。



※右の二次元コード又は下記URLから報告書が閲覧できます。

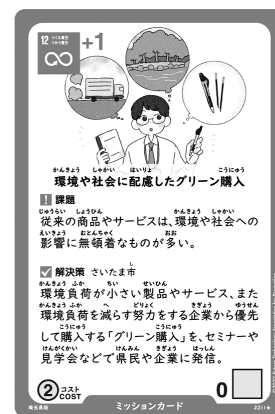
(<http://www.kannet-sai.org/about/activities/lcs.html>)
詳しくは、フォーラム事務局(特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉：<https://www.kannet-sai.org/>)までお問い合わせください。

埼玉県版ふるさとSDGsボードゲームに協力・事例提供

一般社団法人未来技術推進協会(<https://future-tech-association.org/>)による「埼玉県版ふるさとSDGsボードゲーム制作プロジェクト」に協力しました。“埼玉県版ふるさとSDGsボードゲーム”は、埼玉県内の市町村がマスとなったボード上で、すごろくのように楽しみながらSDGsの先進事例を学べるものです。今回、当団体は制作段階で協力し、事例カード



の一つとして埼玉GPNの取組を掲載いただきました。また、当会員の先進的な取組を紹介したところ、掲載された96の先進事例カードのうち15企業・団体の取組が採用され、掲載に至りました。ご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。



©2022 Future Technology Association for Promotion

埼玉GPNの取組を紹介したミッションカード

埼玉GPN会員一覧

(株)ぶぎん地域経済研究所、(株)ハイデイ日高、(株)テレビ埼玉、大宮アルディージャ、浦和レッドダイヤモンズ、武州ガス(株)、(株)パル埼玉、TAKEUCHI ファシリティーズ(株)、ポラス(株)、リコージャパン(株)マーケティング本部埼玉支社、望月印刷(株)、(株)イーシティ埼玉、(株)タカヤマ、(株)アクセル、(株)埼玉りそな銀行、(株)ビルテクノマイニチ、税理士法人レッドサポート、(株)武蔵野銀行、埼玉県信用金庫、(株)ワーム、東京ガスネットワーク(株) 埼玉支社、(株)甲商、(株)ビルヒット、(株)東京化成製作所、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株) 埼玉支社、(株)ベルエール、(株)ハイクレー、フォーレスト(株)、サンケイ鋼器(株)、大成ロテック(株)、(株)ジャパンアート、(株)アートドットコム、(株)シール堂印刷、社会福祉法人埼玉福祉会、毎日興業(株)、マルキュー(株)、(株)埼玉新聞社、(株)ヒメプラ、東京サラヤ(株) 北関東支店、(株)アイル・クリーンテック、税理士法人山田会計、埼玉県、さいたま市、日高市、川口市、春日部市、NPO法人E Eハーモニー、埼玉県商工会連合会、(公財)さいたま市産業創造財団、(公財)埼玉県産業振興公社、埼玉中小企業家同友会、さいたま商工会議所、埼玉県中小企業団体中央会、(公財)埼玉県公園緑地協会、(一社)埼玉県トラック協会、(一社)埼玉県環境検査研究協会、生活協同組合コープみらい (順不同)

■ 入会案内

団体会員、サポーター(個人会員)があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。



■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

【事務局】〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5-3F
TEL.048-749-1217/FAX.048-749-1218
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>

このニュースレターは、GPN-GL14「印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。



印刷サービスのグリーン購入に取り組みます PS23-0003